

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 2 月 14 日 (2013.2.14)

【公表番号】特表 2012-517640 (P2012-517640A)
 【公表日】平成 24 年 8 月 2 日 (2012.8.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-030
 【出願番号】特願 2011-549440 (P2011-549440)
 【国際特許分類】

G 0 8 C 19/00 (2006.01)

G 0 6 F 13/38 (2006.01)

【 F I 】

G 0 8 C 19/00 U

G 0 6 F 13/38 3 5 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 12 月 18 日 (2012.12.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

レーザスキャナ (1 0) であって、
 内部装置 (1 0) と外部装置 (2 3) の間で通信するためのインターフェース (2 0) を有し、前記インターフェース (2 0) は、双方向データ転送用バスの 2 つのバスライン (C A N H , C A N L) と、少なくとも第 1 の制御ライン (S Y N C _ I N) とを有し、これらのラインを利用して、前記外部装置 (2 3) から前記内部装置 (1 0) に制御信号を送信することができ、前記レーザスキャナ (1 0) は前記内部装置として設けられ、前記インターフェースは前記内部装置 (1 0) に対応付けられるレーザスキャナ (1 0) 。

【請求項 2】

前記バスライン (C A N H , C A N L) は、C A N バスに属している、請求項 1 に記載のレーザスキャナ。

【請求項 3】

第 2 の制御ライン (S Y N C _ O U T) が設けられ、前記第 2 の制御ラインを利用して、前記内部装置 (1 0) から前記外部装置 (2 3) に制御信号を送信することができる、先行する請求項のいずれかに記載のレーザスキャナ。

【請求項 4】

配設された前記制御ライン (S Y N C _ I N , S Y N C _ O U T) は、単方向送信用として機能する、先行する請求項のいずれかに記載のレーザスキャナ。

【請求項 5】

前記内部装置 (1 0) は、前記第 1 の制御ライン (S Y N C _ I N) を利用して送信された前記制御信号を、自身のデータストリーム内に取得して、前記データストリームと共に保存する、先行する請求項のいずれかに記載のレーザスキャナ。

【請求項 6】

配設された制御ライン (S Y N C _ I N , S Y N C _ O U T) の一方の上の制御信号には、前記 2 つのバスライン (C A N H , C A N L) 上の識別シーケンスが割り当てられ、前記識別シーケンスは、前記制御信号がどのイベントを表しているのかについての情報を含み、前記識別シーケンスは、前記制御信号に対して時間的にオフセットされる、先行す

る請求項のいずれかに記載のレーザスキャナ。

【請求項 7】

前記内部装置（10）は、自身のデータストリーム内に、前記バスライン（CANH，CANL）を用いて送信された前記識別シーケンスを取得して、前記データストリームと共に保存する、請求項 6 に記載のレーザスキャナ。

【請求項 8】

制御信号と識別シーケンスの間の時間的割り当てを定義する動作モードは、バスライン（CANH，CANL）を用いて送信される、先行する請求項のいずれかに記載のレーザスキャナ。

【請求項 9】

電源ライン（VCC）がアース（GND）またはその両方が設けられる、先行する請求項のいずれかに記載のレーザスキャナ。

【請求項 10】

前記インターフェース（20）が通信する対象である前記外部装置（23）は、前記レーザスキャナ（10）として設けられる前記携帯型三次元測定器が取り付けられる台車（27）に対応付けられる、先行する請求項のいずれかに記載のレーザスキャナ。